

2025 年 12 月 1 日

関係各位

株式会社エステム

豊橋浄水場再整備等事業における落札者として選定されました

弊社が参画するグループ(代表企業:インフロニア・ホールディングス株式会社)(以下「当応募グループ」とする)は、愛知県が進めている「豊橋浄水場再整備等事業」(以下、「本事業」とする)に係る公募手続において、2025 年 11 月 7 日に落札者として選定されました。

1967 年に供用が開始された豊橋浄水場は、東三河地域の豊橋市、豊川市、新城市へ一日約 8 万 m³の給水を担うことで地域の暮らしを支えてきましたが、供用開始から 50 年以上が経過しており、主要施設の老朽化が進行し耐震化も必要な状況です。

愛知県は将来を見据えた施設整備について民間のノウハウや創意工夫を最大限に活用するため、豊橋浄水場の再整備は事業者が自らの提案を基に行った後、愛知県に豊橋浄水場の所有権を移転する方式(BT(Build Transfer)方式)を実施することとしました。また、再整備後の豊橋浄水場等の運営・維持管理等は公共施設等運営事業による事業方式(以下、「コンセッション方式」)により実施することとしました。これら二つの方式を一体とした「BT+コンセッション」方式の導入は水道事業において日本初であり、先進性のある取り組みです。

弊社としては初のコンセッション事業への挑戦となりますが、その中核となる 30 年間に渡るオペレーション&メンテナンスを担います。当応募グループの構成企業各社が有する強みと弊社が培ってきた水処理のトータルソリューションサービスを融合させる事で、次世代型浄水場の構築、カーボンニュートラルの実現、東三河市町村との連携の推進を果たし、持続可能で効率的な事業運営を目指して取り組んで参ります。

【当応募グループの提案概要】

当応募グループは、次に掲げる「AICHI モデル」を策定し、安定的な水の供給と、持続可能な財務管理の実現、無駄のない効率的な組織体制の実現を提案しています。

- Aqua-infla(安全・安心な水基盤)
先進的水処理施設を採用し、安定した水処理と省スペースで大幅な工期短縮
- Innovation(前例に捉われない先進技術の採用)
最先端の状態監視技術や IoT センサーを活用
- Crisis management(強靱な基盤と体制の構築)
南海トラフ地震に耐えうる強靱な浄水場を構築
- Hybrid Energy(水素利活用・カーボンニュートラルへの貢献)
未利用エネルギーにより生成した水素利活用の早期実現
- Integration(上下水道一体で流域管理、東三河経済圏への貢献)
東三河地域につなげるプラットフォーム構築の支援

＜次世代型浄水場のイメージパース＞



【当応募グループの概要】

| | |
|------|---|
| 名称 | あいちウォーターイノベーション |
| 代表企業 | インフロニア・ホールディングス株式会社 |
| 構成企業 | 株式会社東芝 株式会社エステム 株式会社NJS 水道機工株式会社 株式会社サーラコーポレーション 株式会社フソウ 株式会社大場上下水道設計 神野建設株式会社 FCC Aqualia S.A. |

【事業概要と今後のスケジュール】

| | |
|-------------------|--|
| 事業期間 | 特定事業契約締結日の翌日から 2056 年 3 月 31 日まで (再整備期間:特定事業契約締結日の翌日から約 10 年) (運営期間:再整備期間終了の翌日から 2056 年 3 月 31 日まで) |
| 事業範囲 | 【再整備期間・運営期間共通】 ・統括運営業務、関連施設業務、任意事業 【再整備期間】 ・豊橋浄水場再整備業務、豊橋浄水場運転管理業務、豊橋南部浄水場運転管理業務、場外管路維持管理業務 【運営期間】 ・豊橋浄水場運営業務、豊橋南部浄水場運営業務、場外管路運営業務 |
| 今後のスケジュール (予定) | 2025 年 11 月 基本協定の締結 2025 年 12 月 特別目的会社との特定事業契約の締結 |

※豊橋浄水場再整備等事業に関する詳細は、愛知県のホームページをご覧ください。

[豊橋浄水場再整備等事業について | 愛知県公式ウェブサイト \(pref.aichi.jp\)](https://www.pref.aichi.jp)

以上